

## 令和6年度 校内研修

### 1. 主題 教職員の、児童の、情報活用能力の育成 —情報端末・ICT 機器等を活用した協働的な学びを通して—

#### 2. 主題設定の理由

昨年度の校内研修は、「教職員の、児童の、情報活用能力の育成 —自らの学びや考えをより効果的に表現する児童の育成—」というテーマで研修に取り組んできた。ロイロノートの他、複数のアプリケーションの活用方法を探り、児童の実態に合わせて、児童が主体的に表現できる手立てを行うことができた。また、実施する授業について、班員で意見を出し合い、練り上げることができた。児童が様々なアプリケーションを使用することができるようになったことで、表現しやすくなり時間短縮できるようになった。そして、情報の読み取り、整理・分析に時間をとることが可能であるということがわかった。しかし、児童の伝えたいという思いを引き出すことや何をどのように表現するのかという内容面においては課題が残った。また、デジタル資料をどのように児童に提示するのがよいかという点も工夫が必要であった。

そこで、今年度の校内研修では、過年度に取り組んできた授業実践や外部の事例をもとに、ICT 機器の利点である即時性・共有性・保存性を生かした活動、協働的な学び(相互参照・相互評価など)を組み込みながら、授業を検討していくことを目指す。そして、授業デザインを考える際は、どのように問いや課題を設定すれば、児童が自分事として取り組めるかを考え、児童の伝えたい思い、伝えたいことをどう整理し、表現できるのかを念頭に置き、班員でアイディアを出し合い、学び合いながら研修に努めていきたい。

また、様々なデジタル資料を目的に応じて効果的に教職員が使えるように、また、児童が選択して使えるように整理する方法を考えて具体的な形にしていきたい。

さらに、教職員向けに、アプリケーションやツールの研修を行うことで、教職員の情報活用能力も高められると考えられる。また、児童が機器の操作に慣れてきたことで、使い方に関するトラブルが増えているため、情報モラルに関する教職員向け研修や、児童に向けた啓発を行っていく。

以上の研修と実践を行うことで、教職員の、児童の情報活用能力を高めることができると考え、本主題と副主題を設定した。

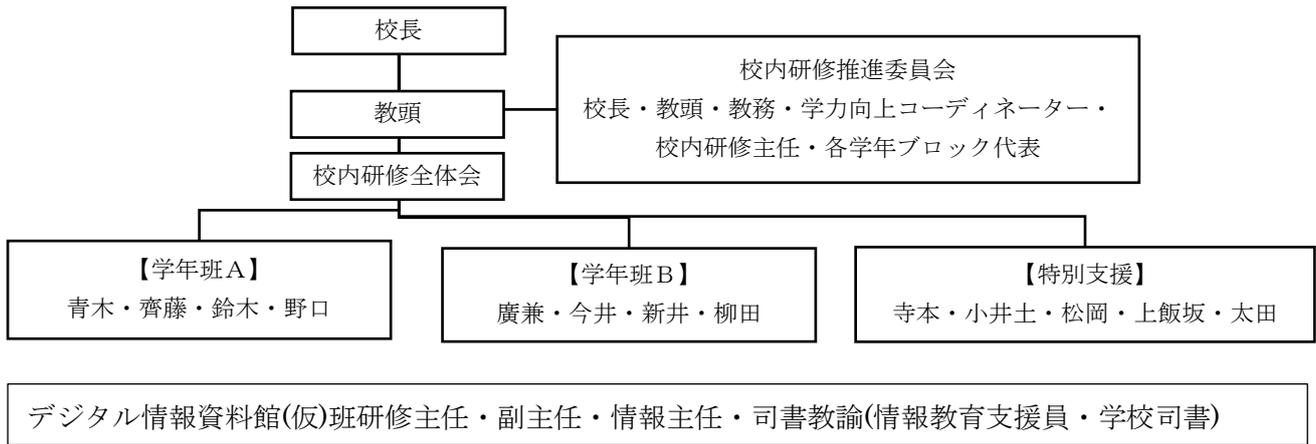
#### 3. 研修のねらい

ICT 機器を活用した協働的な学びのある授業実践を行うとともに、デジタル資料を共有し効果的に活用できるようにすることで、教職員の、児童の、情報活用能力の育成を目指す。

#### 4. 研修の内容

- ・協働的な学びを目指し、情報端末・ICT 機器等を活用した授業実践を行う。
- ・デジタル資料を共有し、効果的に活用できるようにする。
- ・アプリケーションやツールの教職員向け研修を行い、活用能力の向上をはかる。
- ・情報モラルを高めるための研修及び啓発を行う。

## 5. 研修の組織



## 6. 研修計画

日時	推・全	内 容
4/9 火	推進①	今年度の校内研修の内容及び組織検討
4/15 月	全体①	今年度の校内研修の内容及び組織・日程の検討
4/	全体②	2・3年 Canva(マイロゴを作ろう)研修主任・副主任が授業公開
5/13 月	全体③	各部会の計画立案・Sagasokka!オンライン研修(ポプラ社)・Canva ミニ研修(上飯坂先生)
6/14 金	全体④	15:30~16:30 教育センターオンライン研修(情報モラル:著作権)
6/17 月	全体⑤	班別研修1
6/21 金	全体⑥	15:30~16:30 教育センターオンライン研修(情報モラル:デジタルシチズンシップ)
7/下旬	全体⑦	ICT 実践研修(講師 一の宮小教諭 田島広大先生) (班別研修2)
9/9 月	全体⑧	班別研修3
10/21 月	全体⑨	班別研修4
11/18 月	全体⑩	班別研修5
12/9 月	全体⑪	班別研修6
1/8 水	全体⑫	班別研修7
3/10 月	全体⑬	研修のまとめと次年度の方向性について

○推進委員会については必要に応じて招集して行う。

○グループごとの代表授業については、計画的に実施し、2学期中に完了を目指す。

○代表授業に関連した授業をグループごとに計画し、一人一回実施する。

○特別支援班については、伝達講習か授業か選択可能とする。

○10月11月に授業が立て込まないように各班で計画的に行う。

○自由参加でミニ研修を行う。

○教育センター(ICTスキルアップ研修講座オンライン研修5/31 情報モラル:ゲーム依存 6/7 個人情報保護)